

Japanese Utility Model Laid-Open Publication No. SHO-51-144446

Laid-open: November 20, 1976
Filed: May 14, 1975 under No. SHO50-65062
Inventor: Katsunori Hirao
Assignee: Yamamoto Shoji Vco., Ltd.
Title: HANDLE FOR BUSH CUTTING MACHINE

ABSTRACT

A handle (2) for a bush cutting machine includes a hollow grip (6), a core rod (5) threadedly fitted into an end of the handle centrally thereof, and a vibration proofing member (9) provided to extend around the core rod, the core rod and vibration proofing member being housed in the hollow grip such that the grip is movable toward the core rod against the force of the vibration proofing member. The vibration proofing member may be a spring or a sponge.



(1500)

実 用 新 案 登 録 願

昭和50年5月14日

特許庁長官 殿

1. 考案の名称

リフト
刈払機におけるハンドルの防振装置

2. 考案者

住所 松山市小栗ノ丁目11番3号

氏名 平 尾 勝 紀

3. 実用新案登録出願人

住所 松山市西石井町384番地

名称 山本商事株式会社

代表者 山 本 秋 太 郎

郵便番号 790 電話 0899-56-2653

4. 添付書類の目録

(1) 明 細 書

1 通

(2) 図 面

1 通

(3) 譲渡証書

1 通

(4) 願書副本

1 通

(5) 出願審査請求書

1 通

方式
審査



50-065022

明 細 書

1. 考案の名称

刈払機におけるハンドルの防振装置

2. 実用新案登録請求の範囲

ハンドルの^②端部中心に挿入できるようにした芯材部^⑤にスプリング或はスポンジなどの防振体^④を介装し、これを中空のグリップ^①内に嵌装してグリップが防振体に抗して芯材方向に移動可能となしたことを特徴とする刈払機におけるハンドルの防振装置。

3. 考案の詳細な説明

本案は、灌木や雑草を刈払う刈払機において、作業者の手に機体からの振動を防止することを目的とするもので、従来刈払機は刈払性能が重視されて作業者の手にかかる振動は軽視されていたが、最近防振の要望が多くなり、また厚生省においても作業者の安全対策として防振を重視するに至り防振装置の開発が急務となつている。

そこでこの考案は、機体の振動が最終的に作業者に伝わるハンドルのグリップ部において防振す



るものである。これを実施例について具体的に説明する。

先ずその構成において、(1)はハンドル(2)の先端部でこれに係止部(3)を設けた金具(4)を嵌入固着する。この金具(4)の中心に螺子を設けて長い芯材(5)を突出状に螺入できるようになっている。(6)はゴム材の中空グリップで中空部(7)内下方(図面)部に係止突部(8)が設けられており、これとハンドル(2)と一体の金具(4)の係止部(3)が衝合するようになつてゐる。(9)はグリップ(6)の中空部(7)内に嵌入するスプリング或はスポンジなどの防振体で、第1図及び第2図はスプリングを防振体(9)とした場合を示し、これは芯材(5)部にグリップ(6)の中空部(7)を嵌めその中空部(7)にスプリング(9)を落とし込み中心の芯材(5)を螺入すればスプリング(9)下方がグリップ(6)の係止突部(8)を押圧してハンドル(2)と一体の金具(4)の係止部(3)に衝合圧接する。このスプリング(9)の比縮度は刈払作業中グリップ(6)を持つてゐる時、第2図のようにグリップ(6)が移動しスプリング(9)を介してハンドル(2)が中吊の状態となる



ように芯杆(5)の螺入を調節することが理想的である。尚図中00は金具(4)に固着したガイドパイプ、01はスプリング(9)の座金である。

また、第3図及び第4図は防振体(9)をスプリングのかわりにスポンジにした場合を示したものでこれもグリップ(6)を持つて作業をする時、グリップ(6)が移動しスポンジ(9)を介してハンドル(2)が中吊状となるように芯杆(5)を螺入調節する。

このような装置を有するハンドル(2)を第5図のように刈払機の主杆に装着して刈払作業をするとエンジンや主杆及び刈取部からの振動はハンドル(2)から作業者が握っているグリップ(6)に伝わるのであるが、そのグリップ(6)はグリップの中空部(7)においてハンドル端部(1)中心の芯杆(5)がスプリング或はスポンジなどの防振体(9)が圧縮されてハンドル(2)を中吊した状態となるので、ハンドル(2)からの振動はスプリング或はスポンジに吸収消滅されて、グリップ(6)を握った手に殆んど振動が伝わることはないため、作業者は振動による疲労が全くなくなり快適に刈払作業をすることができるも

ので、而もハンドル(2)のグリップ(6)内に防振装置を納めてあつてこれは農家の要望に応え得たものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図及び第2図は本案の縦断面図で防振体をスプリングにした場合を示し、第3図及び第4図は防振体をスポンジにした縦断面図、第5図は使用状態を示す斜視図である。

- | | |
|----------------|----------------|
| (1) . . . 先端部 | (6) . . . グリップ |
| (2) . . . ハンドル | (7) . . . 中空部 |
| (3) . . . 係止部 | (8) . . . 係止突部 |
| (4) . . . 金具 | (9) . . . 防振体 |
| (5) . . . 芯材 | |

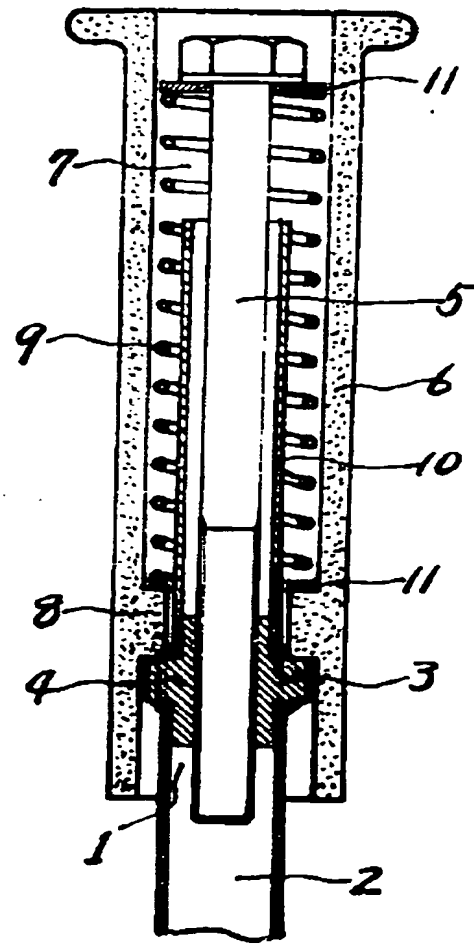
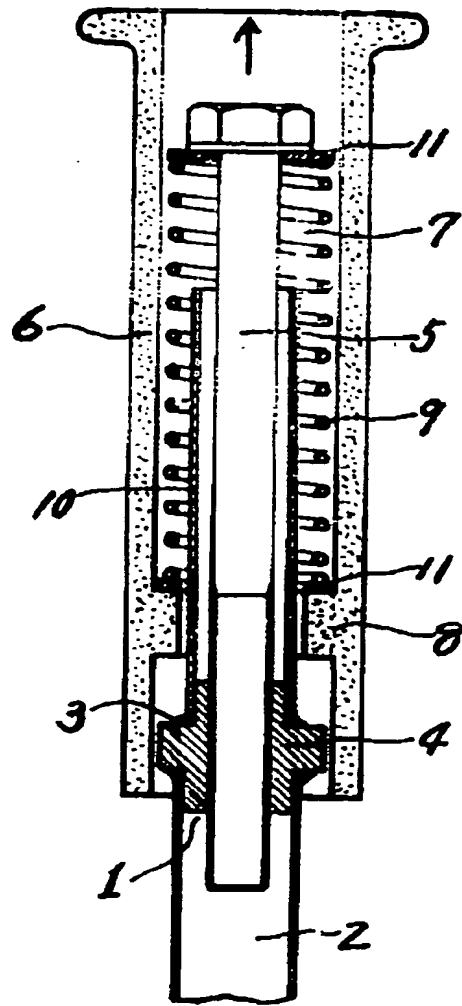
実用新案登録出願人の名称

山本商事株式会社

代表者 山本秋太郎

第 2 図

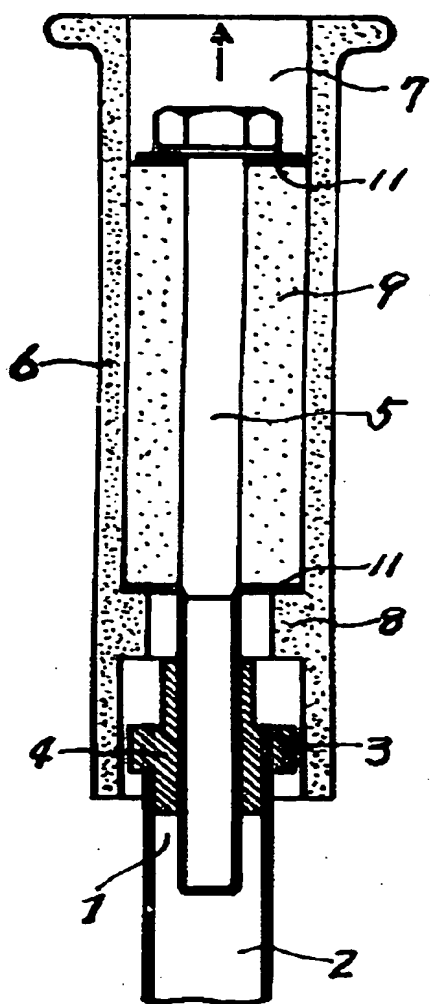
第 1 圖



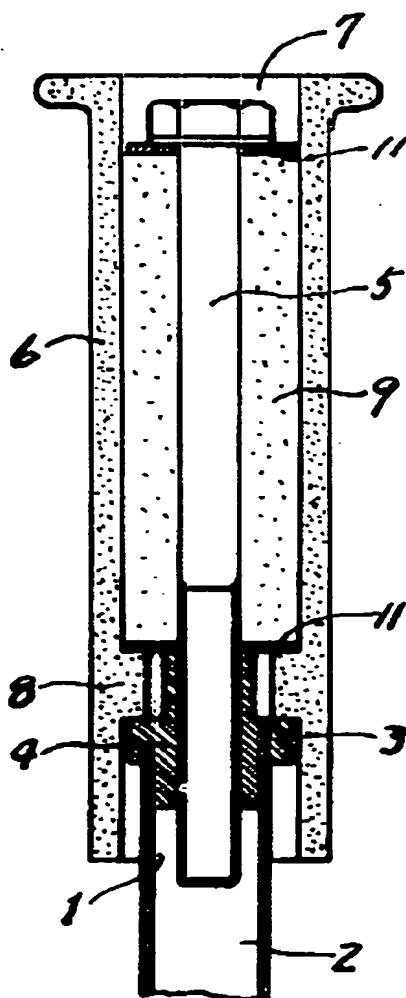
實用新案登録出願人の名称
山本商事株式会社
代表者 山本秋太郎

14446 3

第 4 図



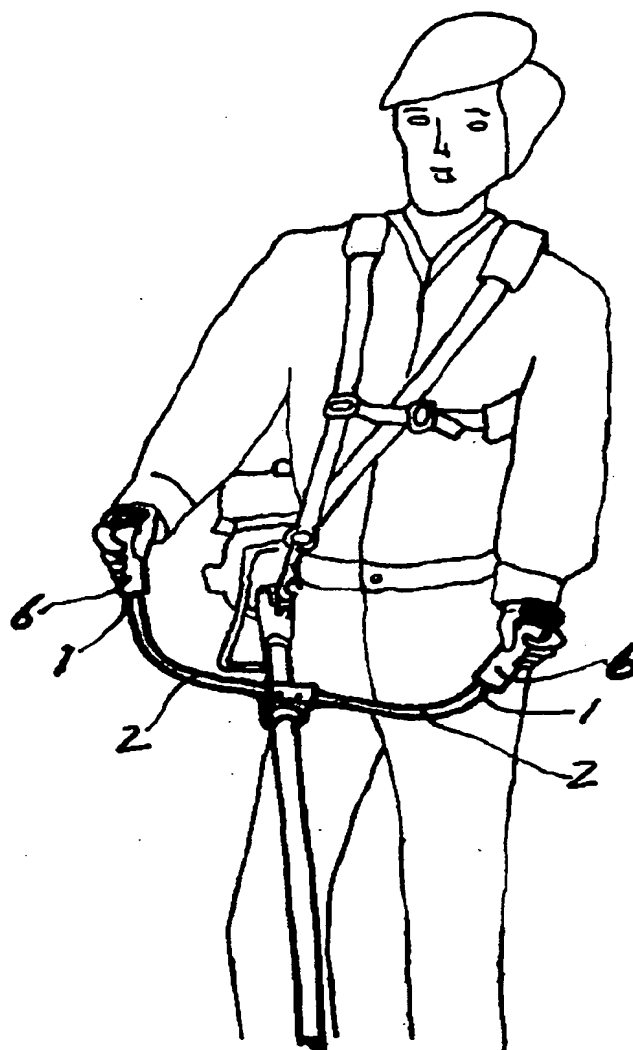
第 3 図



実用新案登録出願人の名称
山本商事株式会社
代表者 山本秋太郎

144446 $\frac{2}{3}$

第 5 圖



実用新案登録出願人の名称
 山本商事株式会社
 代表者 山本 繁太郎

144446 $\frac{3}{3}$